



平成 26 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 トナミホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 綿貫 勝介
 (コード番号 9070 東証第1部)
 お問合せ先 執行役員 経営企画室長 三枝 保弘
 (TEL 0766 - 32 - 1850)

「平成 27 年 3 月期」連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 5 月 9 日に公表しました平成 27 年 3 月期の連結業績予想について、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1)平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正
 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 ①	百万円 59,300	百万円 1,530	百万円 1,650	百万円 1,080	円 銭 11 90
今回修正予想 ②	59,700	1,890	2,110	1,420	15 64
増減額 (②-①)	400	360	460	340	-
増減率 (%)	0.7	23.5	27.9	31.5	-
前期(平成 26 年 3 月期第 2 四半期)実績	58,427	1,282	1,415	790	8 71

(2)平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正
 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 ①	百万円 123,000	百万円 3,700	百万円 4,000	百万円 2,600	円 銭 28 65
今回修正予想 ②	123,500	4,000	4,400	3,200	35 26
増減額 (②-①)	500	300	400	600	-
増減率 (%)	0.4	8.1	10.0	23.1	-
前期(平成 26 年 3 月期)実績	121,129	3,240	3,527	2,370	26 13

2. 業績予想の修正理由

(1)第 2 四半期累計期間の連結業績予想について

主力の特積み事業において、期初は消費税増税に伴う駆け込み需要の反動による影響も見られましたが、緩やかながら輸送ニーズは回復基調にあり、営業収益は概ね予想通りとなる見込みです。

一方で、燃料高騰やドライバー不足による下払い費の上昇などによるコストアップが懸念される中、適正運賃・料金收受の取組み促進、内部運営の効率化や作業生産性の向上など、コストダウンにつとめました結果、営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも前回発表予想を上回る見込みとなりました。

(2)通期連結業績予想について

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績予想の修正をふまえ、第3四半期以降の景気動向も不透明な中、燃料価格の高止まりや、労働需給逼迫に伴う作業料上昇などのコストアップ要因も勘案し見直しを致しました。

その結果、営業収益は、概ね予想通りと見られる一方、営業利益、経常利益、当期純利益は、いずれも前回発表予想を上回る業績を見込んでおります。

なお、当期は中期経営3ヶ年計画の最終年度を迎えており、余すところ取組骨子のひとつでもある「事業構造改革」の進展による収益基盤の強化・業容の拡大に邁進してまいります。

(註)上記の通期業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上